

カエルとiPS細胞を 見てみよう!

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻（東京都） 道上 達男



団体
出展

●どんな観察なの？

- ①発生生物学のモデル生物として使われるツメガエルについて、どんな大きさ、形、どんな動きをするか、観察してみましょう。さわることもできますので、「さわごち」もためして下さい。たまご、オタマジャクシも用意しますので、どんな形をしているか、けんび鏡で観察してみて下さい。
- ②医療の研究でも注目されるヒト iPS 細胞の標本を用意します。どんな細胞の形をしているか、けんび鏡で観察してみて下さい。

●観察のしかたとコツ

【用意するもの】

とくにありません。

【観察のしかた】

- ①カエルについては、そのまま観察してみましょう。さわることもできます。
- ②たまごやおたまじゃくし、iPS 細胞はけんび鏡（右のようなもの）で観察します。まず目の幅を合わせ、次にピントをダイヤルで合わせて、見やすいようにしてから観察しましょう。



●気をつけよう

用意するけんび鏡は両目で見るタイプなので、「なれ」が必要です。スタッフがいますので、けんび鏡の使い方がわからないときは遠慮なく聞いて下さい。



ツメガエル成体



たまご



おたまじゃくし

●もっとくわしく知るために

大学生向けですが、研究室のホームページ (<https://park.itc.u-tokyo.ac.jp/michiuelab/>) があるので見てみて下さい。